



神崎市 議会だより

桜満開の横武クリーク公園

2月定例会

5月定例会は5月22日開会予定です。

第64号

令和5年5月17日
2023年

令和5年度一般会計当初予算

前年度当初予算(骨格予算)と比較して11.7%増

209億2,100万円

令和5年度一般会計補正予算(第1号)

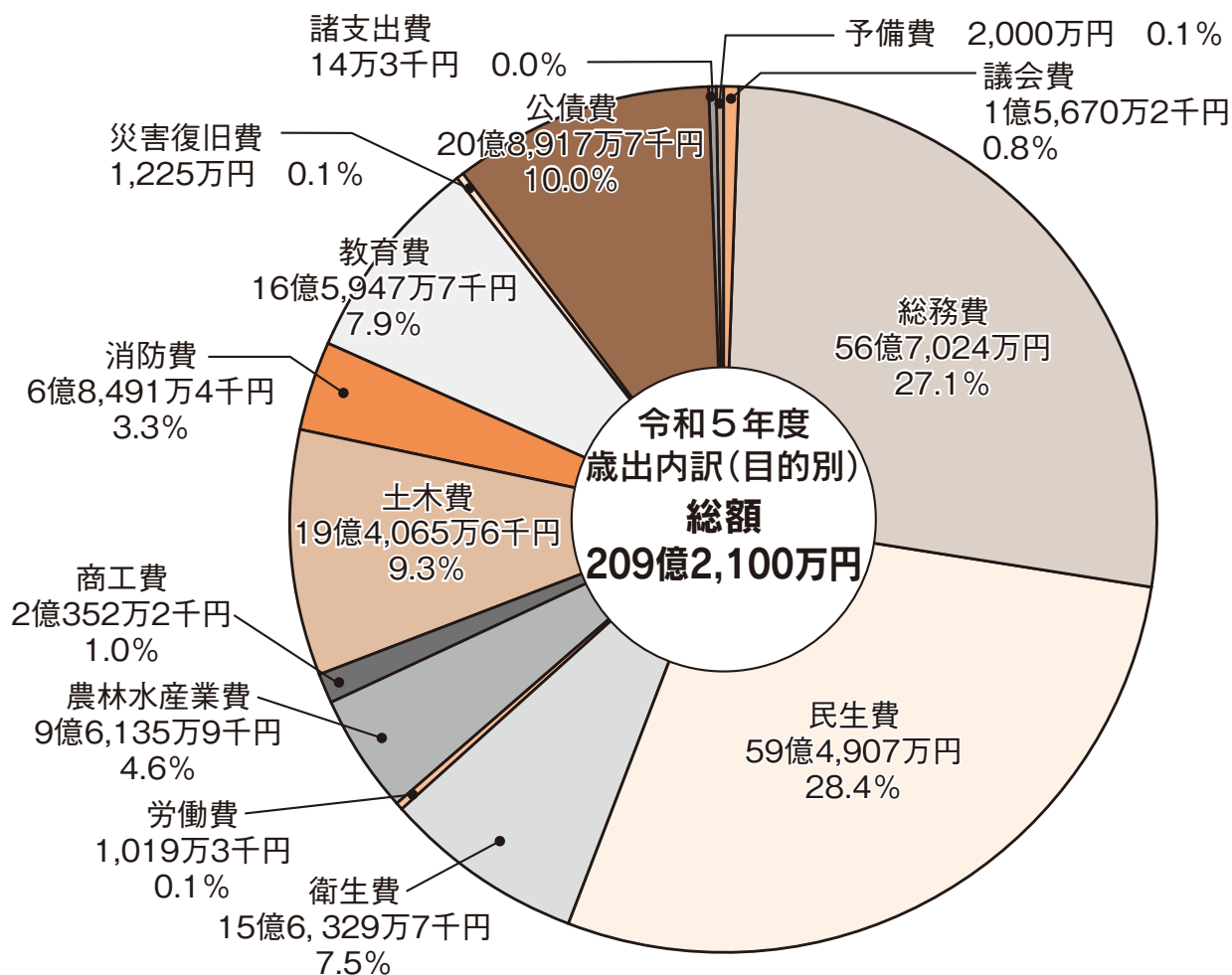
1億3,345万円を追加して、210億5,445万円

2月定例会は、令和5年2月24日から3月24日まで開かれ、一般質問に14人が登壇し、神埼市政全般について質疑を行いました。

一般会計当初予算の総額については、209億2,100万円、補正第1号で1億3,345万円が追加され、総額210億5,445万円となりました。

市長の提案趣旨説明では、「新年度は、引き続き市民志向の視点を持って市政運営に励んでいくとともに、公約実現に向けてすぐできることは迅速に、時間を要することはしっかりと議論を重ね、将来に禍根を残すことがないように、確固たる道筋の構築に向けて努力してまいります。」とのことでした。

令和5年度 一般会計当初予算の円グラフ



／令和5年度当初予算の主な事業を紹介します／

子育て支援

○小・中学生、高校生等医療費助成事業

8,296万7千円

小・中学生、高校生等に係る医療費の一部を助成することにより、小・中学生、高校生等の保健の向上及び保護者の経済的負担の軽減と子育て支援体制の充実を図る。



給食費助成



○学校給食費助成事業

4,961万4千円

保護者の教育費の経済的負担を軽減し、家庭での生活環境を向上させ、子どもたちの健やかな成長を支援することを目的とし、学校給食に要する食材費を助成する。また、学校給食にデザートを追加提供することにより、児童生徒が給食の時間がさらに楽しみになるような支援を行う。

新規就農者応援

○新規就農者育成総合対策事業

2,850万円

持続可能な力強い農業を実現するには、次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取組みを講じていく必要がある。このため、新規就農者の経営発展に必要な機械・施設等の導入を支援するとともに、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、最長3年間資金を交付して支援する。

ふるさと納税の推進



○ふるさと納税推進事業

15億2,240万2千円

神崎市へのふるさと納税の促進による財源の確保と、「返礼品」を市が市内事業者から購入することで、地域経済の活性化を図る。また、神崎市の特産品等を広くPRすると同時に新たな特産品を発掘し、神崎市の魅力を全国に発信する。

城原川ダム事業関連

○神崎市水源地域振興計画推進事業

1,169万8千円

振興計画の推進にあたっては、関係者が一体となって推進することが重要であり、関係者間の役割分担、連携、協力を円滑に進めるため神崎市水源地域振興計画を推進していく。



▲城原川ダム建設予定地

水害対策

○クリーク防災機能保全対策事業

1,478万1千円

市における幹線水路・クリーク等は、法面の崩壊により隣接する道路や農地等への浸食被害を及ぼしているため、急激な水位変動に耐えうる護岸整備等を行うことにより本来持つ洪水調整機能の強化・保全を図る。また、水路機能障害（法面の崩壊進行）が発生しているクリーク等の護岸整備及び堆積した土砂の浚渫を行い、洪水及び流量等の水量確保を図る。

予算特別委員会の主な質疑

総務企画部

定住促進対策事業について

Q 定住促進対策で、神埼・千代田・脊振の定住者等の状況はどうなっているのか。

A 令和 3 年度実績は 95 件、そのうち市外からの定住は 23 件で、神埼 16 件・千代田 6 件・脊振 1 件となっている。令和 4 年度は、1 月末時点で 89 件、そのうち市外からの定住は 41 件で、神埼 26 件・千代田 13 件・脊振 2 件となっている。

ふるさと納税について

Q ふるさと納税を活用した事業の充当基準はどのようにされているのか。

A 前々年度の（令和 3 年度）寄附額から必要経費を控除した経費の 3 分の 2 を活用するルールを設け、市長・副市長との協議を踏まえて予算化している。

Q ふるさと納税 25 億円、経費を差し引き 10 億円の活用を図り、神埼市の特色ある返礼品のセットなど、知恵の出どころだと思うが、しっかりとした計画を練らないと厳しい状況になることを危惧するが。

A さほど特産品を持たない自治体でも、知恵と工夫により実績を上げている自治体はたくさんある。更に知恵と工夫を出し、市役所の組織も今よりもっと強化し対応していきたい。

▼神崎市が取り扱う
ふるさと納税ポータルサイト



滞納額を減らす努力について

Q 固定資産税の滞納額が例年より大きくなっているが、この滞納額を減らす努力はどのような形でされるのか。

A 滞納関係の処理については、税関係のみならず家賃収入・保育関係なども含めて全庁的に年 1 回滞納収納対策会議を開催し、関係各課の滞納の現状と今後の方針を協議しながら対策を行っている。

長期財政計画について

Q 予算編成の中でスクラップアンドビルド（見直すところは見直す・つけるところはつける）を言ってきたいるが、長期的なプランを示してもらいたい。

A 将来を見据えた財政の運営計画ということで、県に提出している中期財政計画の他、10 年先を見据えた財政シミュレーションを毎年立て、職員を対象に、財政状況の把握と今後の財政運営についての一定の認識を持つてもらうための説明会を行っている。議会にも、要望があれば示したい。



市民福祉部

母子手帳アプリ情報配信サービス事業について

Q 母子手帳の発行と同時にアプリを導入するということなのか。

A 母子健康手帳はこれまで通り発行する。その時に、スマートフォンは広く普及していることから、このアプリの説明をして、妊娠中から活用していただきたと考えている。主な活用としては、0歳から2歳の時期は成長、予防接種の記録など。その後、母子健康手帳を利用する時期までの活用ができると考えている。



▲神崎市の母子健康手帳

医療扶助オンライン資格確認事業について

Q 生活保護受給者の医療扶助の資格確認において、マイナンバーを利用したオンライン資格確認を使用することが定められたが、生活保護受給者のマイナンバーの取得率は。また、取得するには援助が必要と考えるが、その状況は。

A 令和5年1月31日現在で、マイナンバーの生活保護受給者の取得率は54・4%になっている。今後の取得に関しては、ケースワーカー、市民課の協力を基に推進を図りたいと考えている。



産業建設部

旧長崎街道神崎宿観光拠点づくり事業について

Q 旧長崎街道神崎宿の空き家等の古民家をリノベーションし、宿泊施設やレストラン等として活用するということだが、1丁目から4丁目までの街道筋の空き家は何軒あるのか。また、利活用できそうな空き家は何軒あるのか。

A 事業範囲は、櫛田宮南側の鳥居付近から、4丁目神崎宿場茶屋付近までの計画で、その範囲で空き家は5軒（神崎市空き家実態調査）ほど確認している。また、先進事例を参考に観光と宿泊の連携による相乗効果と観光振興による地域の活性化に繋がる「まちなか観光の拠点づくり」の調査・研究を進める。

▼旧長崎街道神崎宿



旧庁舎跡地整備事業について

Q 神崎市役所本庁舎の移転に伴い、南別館が残っているが、残して活用するのか、すべて取り崩して新たに計画するのか。

A 市民の皆様が集える場所として、また市の中心エリアとしてトータル的に考え、南別館の判断をしたい。

新規就農者育成総合対策事業について



Q 新規で親元就農をする場合、米・麦・大豆等で規模拡大をした場合でも経営発展支援事業（上限 1,000 万円）を申請できるのか。

A 経営発展支援事業については、要綱上は親の経営に従事しながら 5 年以内に継承したものとなっており、その中でも新規作物を導入する事となっている。

教育委員会

放課後子供教室推進事業について

Q 6 月議会で、推進員の方々の処遇改善を求めて質問したが、今年度の当初予算と昨年度と比較して、どの様に処遇が改善されたのか。

A 時給の見直しを行っている。推進員については本年度 826 円、来年度は 922 円、96 円の増加。推進委員補助、安全管理委員については、本年度 550 円、来年度は 645 円の 145 円の増加で予算計上している。



▲ドリームパークの活動報告書

神崎中央公民館自主事業、千代田文化会館自主事業について

Q この事業の目的として、子どもたちの地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。また、芸術の振興及び増進として、文化性の高い舞台芸術や公演等を市民へ提供するため施設として利用促進を図るとあるが、今後この事業を継続するのか、単発の事業なのか。

A 演芸については、漫談と落語だけではない。演劇、ステージの事業についても、ジブリ音楽と狂言だけではない。市民参加型の方法であると考えている。こうした、芸術性の高いものを直接見ていただく、聞いていただく、触れ合っていたことが、市民の皆さんに気持ち、心の中に衝撃を与えらると思う。地元で密着し、このような文化芸術を繰り広げることが必要だと考える。今後予算取りを引き続き頑張っていく。



▲はんぎーホールで開催される狂言公演

これが聞きたい！



高齢者福祉施設整備事業

942万円

（事業の目的）

高齢者等の要介護予防及び健康増進を図り、その自立及び充実した生きがいのある生活を支援するために設置した施設の維持管理を行う。

Q

経常修繕分として 100 万円予算計上されているが、この経常修繕分とはどのような経費なのか。

A

全ての施設が 40 年から 50 年経過しているため、経年老朽化に伴う対応と、憩いの家については温泉施設ということで、営業等に影響がないように早急な対応が必要になるため、毎年 100 万円計上している。

本堀団地建替事業（ストック総合改善事業）

6 億 2,275 万 6 千円

（事業の目的）

神崎市公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅の維持管理や整備等を計画的・効率的に進め、誰もが快適に暮らせる住まいづくりの推進を図る。

Q

本堀団地立替事業関連で、現在本堀団地にお住まいの方で、完成した新しい団地に入居される方への家賃説明はどのようにされているか。

A

現在本堀団地にお住まいの方への家賃説明は、昨年中に 1 度実施している。建替後の家賃に関しては、公営住宅法にて定められている激変緩和措置制度により、5 年間かけて 5 分の 1 ずつ上がる事になる。本年完成前に再度説明会を開催し、改めて家賃について説明を予定している。



▲建て替え工事中的の本堀団地



神崎市小中学校国際交流事業 986万5千円

（事業の目的）

市内中学校の生徒を対象に多様化する国際社会の中で、異文化の生活や習慣を体験及び学習することにより、国際的視野を広げ、国際社会に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。

Q

小・中学校国際交流事業について 中学生が韓国・中国と交流を続けてこられているが、昨今の国際情勢や歴史認識問題について、参加する生徒にどのように話しているのか。

A

政治的な韓国との問題が出たのは、神崎中学校と千代田中学校の生徒が韓国に行くことになっていた時期である。福岡の総領事館と連絡を取り、韓国情勢について聴取し、その内容等について保護者に説明会を開いた。

学校給食費助成事業 4,961万4千円

（事業の目的）

保護者の教育費の経済的負担を軽減することで、家庭での生活環境を向上させ、子どもたちの健やかな成長を支援することを目的とし、学校給食に要する食材費を助成する。また、学校給食にデザートを追加提供することにより、児童生徒が給食の時間がさらに楽しみになるような支援を行うことを目的とする。

Q

事業内容に、「給食に要する食材費の助成」、「給食にデザートを追加で提供する」とあるが、取組内容と助成額の説明を求める。

A

○取組内容は次の①、②、③とする。

- ①進学を控えた学年の保護者の経済的負担軽減策として、小学6年生、中学3年生を対象として給食費を助成する。
- ②小学1年生から5年生、中学1、2年生の児童生徒の保護者の経済的負担軽減策として一律額の給食費を助成する。
- ③月2回程度、デザートを提供するための給食費を助成する。

○助成額は次の①、②、③とする。

- ①小学6年生は年額 49,500 円、中学3年生は年額 56,100 円
（神崎市学校給食費を限度とする）
- ②小学1年生から5年生及び中学1、2年生は年額 11,000 円
（月 1,000 円× 11 ヶ月）
- ③デザートを提供するための食材費の助成は、
 - ・小学1年生から中学2年生は、50 円程度（1 回分）× 23 回提供
 - ・中学3年生は、50 円程度（1 回分）× 22 回提供



▲デザート付きの給食

常任委員会の Q & A

それぞれの常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件 2 件について審議を行いました。

神崎市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
（賛否：全員賛成）

Q

今回新たに創設された消防団出動報酬について、支払うための事務手続きをどう行うのか。

A

月 2 回の点検、火災予防運動、各式典や訓練等の団員の出動表を作っており、部長等が出動について記録を行い、夏季訓練時や出初式の時に集計した分を提出する形になる。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件 6 件について審議を行いました。

神崎市リサイクルセンター設置条例の制定について（賛否：全員賛成）

Q

今年 4 月から資源物コンテナ収集が始まるため、地区説明会を実施されているが、説明時に一番多かった質問はどのようなことだったのか。

A

リサイクルセンターに関する質問が一番多かった。内容としては、リサイクルセンターの場所、営業の曜日、時間等でのご意見をいただいた。市としては、なるべく地区での収集で出していただくようお願いし、リサイクルセンターは、あくまで補完的な部分での運営を計画している。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、その他案件 1 件について現地視察を含めて審議を行いました。

市道路線の認定について（賛否：全員賛成）

Q

平ヶ里北住宅線について、道路の右側に側溝がないが、問題はないのか。

A

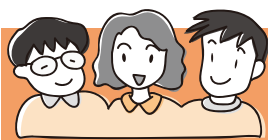
道路は片勾配となっており、片側の側溝に路面水が流れるようになっている。雨量についても計算している。

Q

東山住宅線について、行き止まりは今後どのように表示するのか。

A

先は急斜面になっているので、赤のポールコーンを付け、行き止まりの標識等の表示を設置する。



賛否があった議案を紹介します。

議案第20号 令和5年度神埼市国民健康保険事業特別会計予算

議案番号	議決結果	田原和幸	野副芳昭	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	平山文也	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	山口義文	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美
議案第20号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×

田原和幸議員は議長のため採決に加わっていません。

〈議案に対する反対討論〉 佐藤 知美 議員

地方自治法、第1条の二には、地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。と述べられています。

予算委員会でも質疑を行いました。この地方自治の趣旨に沿って神埼市を始めとして全国の多くの自治体で子どもの医療費無料化が進んでいます。

国民健康保険税の問題でも、少なくない自治体で一般会計から国保特別会計へ繰り出しを行い、被保険者の国保税の引き下げなど負担軽減策を行っています。国はこのように地方自治の趣旨に沿った自治体運営に対し支援をするのが当然だと思いますが、しかし実態は、福祉の増進として行われている現物給付による子ども医療費無料化や国保特別会計への一般会計からの繰り入れを行っている自治体に対しペナルティーを科すなど、本末転倒の国策を行っています。このような地方自治法を無視するような行為は即刻廃止をすべきであります。

神埼市の国民健康保険特別会計の現状は、県単一化の下で神埼市は激変緩和措置がとられてきましたが、その措置も令和3年度末で終了したことにより、令和4年度には、国保財政調整基金を取り崩し4,500万円の補填を行い、令和5年度の当初予算においては基金より5,500万円の予算措置がなされています。この結果、国保財政調整基金残高は1億6,500万円となり、これから基金造成しなければ令和8年度にはきわめてゼロに近い状態が予想されます。

さらには、令和9年度には県保険料率の一本化が実施されれば、財政調整基金からの繰り入れが出来ない、保険料率の引き上げなど、被保険者にとっては二重の負担増が考えられます。

令和5年度の国民健康保険事業特別会計予算の質疑でも、市独自の軽減措置はしていないという答弁であり、被保険者にとって今でも高すぎる国保税の負担増は耐えられものではありません。今こそ地方自治法の趣旨に沿って、一般会計から国保特別会計へ繰り入れを行い被保険者の負担軽減を求めて反対討論とします。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 野副 芳昭

本委員会では各分科会で調査・研究した項目の経過報告を行い、全員で確認しました。第 1 分科会では、タブレット端末の仕様の検討を行い、A4 サイズの資料で表示可能な画面の大きさでの結論になりました。また、嬉野市及び鳥栖市議会視察では、議会タブレット導入検討やタブレットの活用状況の研修を行い、引き続き有効性やソフトの選定及び執行部の導入の可能性についての調整など、調査研究を行います。

第 2 分科会では、現在の政務活動費の使途基準の気づきや改善点について洗い出しを行い、視察研修時の届出と終了時の様式の確認を行いました。また、政務活動費の基準の手引きと透明性の見直しを行います。各分科会では、随時、情報の共有や確認を行います。

議会報告会（意見交換会）



議会改革検討特別委員会の様子

の開催については、選挙後の議会でも、より市民の声を拝聴しやすい場にするため、小学校区ごとのテーマや課題についての意見交換会として市内 7 ヶ所で開催します。テーマは調整中で、多くの市民に参加していただけるよう準備を進めます。市民の付託にこたえられる議会、議員活動の実現を目指し、今後も検討を重ねてまいります。

神崎市議会「意見交換会」



を開催します

地域を盛り上げるには、どのようなアイデアや課題があるのか。

小学校区ごとに地元に関係のあるテーマを設定し、市民と議員が自由に意見を交わす意見交換会を下記のとおり開催します。

直接意見を交わすことで、神崎市議会を身近に感じてもらう機会になればと考えていますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時	小学校区	会 場
7 月 28 日（金） 19：00～20：00	脊振小学校区	脊振交流センター 3 階
	神埼小学校区	JA 資材センター 2 階 会議室
7 月 29 日（土） 19：00～20：00	千代田東部小学校区	旧 JA 千歳支所 2 階
	千代田中部小学校区	千代田交流センター 2 階 会議室
	千代田西部小学校区	上西公民館
7 月 30 日（日） 19：00～20：00	仁比山小学校区	もみじの湯 大広間
	西郷小学校区	横武公民館

※お住まいの地域以外でも自由にお越しください。

総務企画部長 防災行政無線の更新計画と併せて市民への情報伝達体制の強化に努める。

議員 防災行政無線やホームページへの緊急情報掲載などのほか、多様な伝達手段の検討はされているのか。

中島総務企画部長 水防訓練・避難所開設訓練・情報伝達訓練・避難行動要支援者への声掛け訓練等のほか、各公共機関の相互連絡・協調体制の確立を行っている。

議員 出水期を前に暮らしやすいと安全安心な環境づくりとして、水防計画・地域防災計画等の訓練の状況は。



平山 文也 議員

市民の安全安心対策（防災面）について

答 災害発生時の対応力と被害軽減のため防災訓練を実施



議員 自主防災組織は、東日本大震災や熊本の地震災害では行政の公助の限界を力バーする組織体として、活躍されていた。自主防災組織の支援と併せて地域防災リーダーの育成状況は。

総務企画部長 自主防災組織の活性化を図るため、積極的に地域防災リーダー養成講座研修への参加を促す。

議員 中池江川改修について、JRR上流部の改修計画はどうなっているのか。

花島ダム対策担当理事 佐賀江川合流点よりJRR橋下流までの区間について、令和10年度完了に向けて鋭意取り組まれており、その後上流部に着手される。一日も早く着手されるよう県に要望していく。

議員 上流部は、県営圃場整備と併せて堤防用地が確保され、一部補強がされているが、漏水もあり応急的な堤体の腹付け工事はどうなっているのか。

嶋産業建設部長 漏水箇所対策なども含めて、早急に県と協議を行う。

その他の質問 ・越水箇所抜本的対策



整備が待たれる
中池江川上流部



福田 清道 議員

大型農業機械へ市独自の補助制度創設を求める

答 近い将来何らかの支援を行っていききたい



松永農林水産担当理事 補助制度の検討を行う際には、当該農業団体等の経営の合理化、環境負荷低減の取り組みなど必要件にしたいと考えている。

議員 農業の衰退は環境の破壊、災害の多発につながる。農業は市の基幹産業である。したがって、市独自の補助制度として最低でも購入額の二割、最高200万円程度の補助制度創設を求める。市



大型農業機械の補助制度創設の早期実現を !!

保育士不足の対策について

議員 市内に公・私立保育園は10ヶ園あり、どの保育園も保育士の確保に苦勞されている。そこで、保育士確保の一つとして、市独自の給付制の奨学金制度の創設を求める。

佐藤福祉課長 園長さんたちの現場の意見を聞き、課題の整理等を行い、奨学金制度について研究を行いたいと思っている。

議員 特に被害が多い時期にカモに特化した、猟友会による駆除ができないのか。

一番ヶ瀬農政水産課長
麦の共済については、全相殺方式を採用しており、1圃場が減収しても他の圃場が豊作で総重量が1割以上の減収にならない場合、共済金の支払い対象とならないため、被害無しとの報告になる。

議員 本市において、農業共済組合よりカモによる麦の被害無しとのことだが、実際に被害があつているがなぜそのような報告になるのか。



末次 勝 議員

カモによる麦食害の状況と対策について

答 県、近隣市町、JA関係機関と協力し協議する



松永農林水産担当理事

現在は3期に分け、定期的な駆除と市民からの申出などがあつた場合に、必要性を勘案し緊急駆除を実施している。鳥類における駆除については、

議員 実際に被害に遭われている農業者と、連携した抜本的な対策の検討は。

農林水産担当理事 三神農業振興センターでは実証実験が実施されている

が、被害を受けている農家の声を反映させ、県やJA等、関係機関と協力して被害低減に取り組んでいきたい。

議、調整を図り効果的な



カモによる麦食被害を受けた圃場（千代田町餘江）

議員 平成10年に建設された「ふれあい橋」。化粧直しをしてオブジェとして再利用できないか。

田中建設課長 沈下橋を渡る際に、河川への転落のおそれや、増水時に渡れなくなるなど、安全面の課題がある。施設全体も経年劣化によって老朽化している。施設全体での課題は優先順位をもつて必要な所から対応する。

議員 久保山キャンプ場ロッジのバリアフリー化をするために、ロッジの南にある沈下橋の利用は考えられないか。ロッジの下まで行ける道を作る考えはないか。



服巻 玉美 議員

脊振町の既存施設を利用した活性化について

答 ふるさと納税に力を入れ既存設備を活性化させる



久保山キャンプ場ロッジ下流にある沈下橋

市長 脊振の様々な施設は、合併前の脊振村時代の設備である。自然環境を活かしたすばらしい施設を造った当時の脊振村は、すごい時代を作ってきていると感じる。残念ながら合併してほとんど手が入っていない。すばらしい自然環境を市民、市外の方々に知ってもら

い、利用してもらおう。それをやっていきたいと思っている。そこには相応の財源が必要である。令和5年度から、ふるさと納税に力を入れ、市内にある多くの設備を活性化させ、再利用する。そういう思いで取り組んでいきたい。

議員 国の補聴器購入の制度としては、高度の難聴者への補助制度はあるが、軽度・中度の難聴者は対象外となっている。市独自の高齢者への補聴器の補助制度を求める。

八谷福祉事務所長 令和 4 年 10 月から 12 月までの期間に佐賀中部広域連合で、介護認定を受けた神埼市の高齢者 324 人のうち、聴力に関して 109 人の方が聞きづらさを感じているという回答を受けている。令和 4 年度の全国市長会では、国への提言として、加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設する措置を求めている。



佐藤 知美 議員

高齢者の補聴器購入の補助制度を求める

答 補助をする方向性で考えていいと思う



議員 高齢者の介護認定で 33・6%の方が聞きづらいつと感じておられるが、聞きづらさは高齢者にとつてどのような影響が出てくるか。

野中高齢障がい課長 高齢者への影響としては、外出先において聞きづらいため事故や、災害時の警報に気づかないなどの危険性や、外出を控えることによる社会参加の機会が減るなどの影響があり、引きこもりがちになり、うつ状態や認知症の発症にもつながる。

議員 高齢者の補聴器補助制度の実施自治体は、全国で昨年 7 月時点で 35

自治体から現在では 120 自治体へと急速に増加しているがその背景をどの様に捉えているか。

高年齢障がい課長 補聴器を使用することで周囲の方とのコミュニケーションが取りやすくなり、高齢者の生活の向上や引きこもりの解消や認知症を抑える効果などによるものと考えている。

議員 市長は、これまでのやり取りを含めて高齢者への補聴器購入の補助制度を実施すべきと思うがどう考えられるか。

市長 補助をするという方向性で考えていいのではないかと思う。



高齢者に望まれている補聴器補助

議員 スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による稲の被害（稚苗の被害）に対して、他市町のように薬剤購入に対しての市独自の補助は、できないか。

松永農林水産担当理事 補助については、県及び J A や県内他市町など、関係機関の状況を確認するとともに、調査を行いながら、検討していきたいと思っている。

議員 カモによる麦の被害（若葉の被害）に対して、猟友会による有害鳥獣駆除はできないか。

農林水産担当理事 被害対策として、鳥類の飛来などに合わせ、猟友会の



野口 英樹 議員

スクミリンゴガイ駆除に、市独自の補助ができないか

答 関係機関の状況を確認し、調査・検討したい



捕獲隊による年 3 期に分けての定期的な有害鳥獣駆除業務と緊急駆除を年 1 回実施し、有害鳥獣の捕獲を実施し対策を講じている。

市 20 年以上、全く基本的には手つかずの状態が続いている状況である。幹線水路から地区内の水路に水が循環するように取り組んでいこうと思っている。

市の災害対応は万全か

議員 火災時の消火活動には、自然水利が必要だが、千代田町の地区内の



泥土が堆積し、水の循環ができない地区内の水路

市 20 年以上、全く基本的には手つかずの状態が続いている状況である。幹線水路から地区内の水路に水が循環するように取り組んでいこうと思っている。

議員 令和 5 年度末をもって、脊振クリーンセ

ンターの稼働が終了する

が、施設の再活用を選択肢の一つとして、もみ殻燐炭の施設利用はできないのか。

農林水産担当理事 「もみじの里」構想が提案されてお

り、荒廃した農地や山林にもみじを植栽し、新たな観光資源を作るものである。

議員 どのような振興策が検討されているのか。

松永農林水産担当理事

中山間地域の農産物、自然、歴史といった地域資源を活用し、地域住民が主体となった小さな拠点づくりをコンセプトとして振興策を探っている。



徳川 博人 議員



令和 5 年度で稼働終了見込みの脊振クリーンセンター

農林水産担当理事 施設を再活用し、もみ殻燐炭の製品化、余熱を利用した施設園芸の導入、施設の多目的利用、農事組合法人の活用など、多様な取組が、一元化することとなれば、SDGs の取組を踏まえ、循環型農

業と環境負荷軽減、さらには雇用の創出といった多様性を秘めた取り組みになると考える。

その他の質問

・ J・クレジットの進捗状況
・ 肥料・資材等高騰対策
・ J・R 神崎駅北口パバイア試験栽培について
・ 令和 5 年度予算の見え方について

答

小さな拠点づくりの振興策を目指す

令和 5 年度に向けた産業振興方策について



1.5 m の狭い通学路



通学時の車両渋滞状況

議員 神崎高校と神崎清明高校がほぼ同じ場所に出来たのは大変良いことであるが、J・R を利用しての通学者が多く、交通渋滞が発生する箇所や歩



増田 紀之 議員

答

安全対策について協議し対策を講ずる

神崎高校・神崎清明高校の通学路の問題点について



平山教育部長 歩道が狭い所を通過する際は、対向する人と自転車の譲り合いなど、啓発し事故にあわないよう、しっかりと交通マナーを習得させる。

議員 最近地方においても強盗や殺人の犯罪が多発している。防犯カメラは、犯罪の予防や犯罪が起きた際の捜査等において、事件解決の手がかりとなる。各集落、通学路に防犯カメラの設置は出来ないか。

市民の安心安全について

久間防災危機管理課長 関係機関と現場を確認し、信号機の設置などについて検討していく。

は大渋滞となっている。横断歩道に信号機を設置すれば渋滞は緩和するのではないか。

中島総務企画部長 一般社団法人全国安全環境ネットワーク協会が行う事業を活用し、防犯協会による助成制度の創設については、神崎地区防犯協会、神崎警察署と協議を進めて行く。



平成21年7月豪雨時の城原川中下流域の状況

議員 佐賀市で行っている集落基盤整備事業の実施に係るスケジュールは、どの様になるか伺う。
一番ヶ瀬農政水産課長 この事業を活用するには



永沼 彰 議員

議員 脊振地区活性化にどの様に取り組まれるか
議員 農村振興基本計画の策定が必要である。令和5年度に農村振興基本計画策定準備、6年度に田園環境整備マスタープランの改定等、7年度に事業計画書の策定、8年度には事業採択申請及び事業認可を受ける予定とし、最短でも令和9年度からの事業開始を考えている。

千代田地区集落内クリークの環境整備について
答 集落基盤整備事業の活用準備を進めている



城原川の河川整備について

議員 新宿橋下流域の堤体補強工事について伺う。

花島ダム対策担当理事

国より令和元年度まで堤防の安全性を確保するため、順次堤防補強工事が進められてきた。その後、設計や地元調整が行われていると聞いている。市としても一日も早く進む様、機会をとらえ働きかけていく。

伺う。

嶋産業建設部長

キャンプ場、グランピング等候補地選定を行うため、市役所若手職員による中山間地活性化プロジェクトチームより場所の提案があっている。今後は、課題の確認や先進地視察を行い適地の絞り込みを行う。



白石 昌利 議員

議員 女性の社会進出、核家族化といった社会の変化に伴い、近年では子どもの保育先の課題をはじめ、育児不安の増加など子育てに関する様々な問題が生じている。保護者たちが実際求めている支援の取り組みで、産前産後の女性に寄り添い支援する産後ドゥーラ、この利活用を推進する動きが広がっているが市の考えは。

森田市民福祉部長 様々なサポートをしてくれる専門家、産後ドゥーラのような支援の必要性は感じている。

議員 色々な子育てでうれしい支援の取り組みで

「子育てするなら神崎市」色々な子育て支援について
答 切れ目のない支援の充実を目指す



は、母親の睡眠不足解消にもつながる母親の居場所づくり支援。そして、子育てが大変なのを助けてほしい支援と、父親の育児ストレスなど、相談支援の取り組み状況は。

八谷福祉事務所所長

緊急的な支援が必要となる場合もあるが、まずは福祉課へ相談していただきたい。また子育て支援センターでは母親に限らず、父親や祖父母など幅広い利用を呼びかけている。

王仁顕彰公園の利活用について

議員 内川市政における王仁顕彰公園の利活用について考えは。

市長 すばらしいエリアに、すばらしいスペースがある。若い人たちが関心を持ち、来てもらうような要素をつくり上げしっかりと取り組む。



王仁顕彰公園の駐車場は、佐賀県所有の吉野ヶ里メガソーラー駐車場

議員 歳入予算について、前年度より市債が大きく

宮地財務等担当理事 市民ニーズに即した事業展開や費用対効果の検証による戦略的な財政運営に取り組み事業の進捗や達成状況を踏まえ、施策・事業の重点化、選択と集中、国や県の制度変更に対する的確な対応、事務事業の効率化、適切な市債活用を留意し予算編成をしている。

議員 令和5年度の一般会計予算は令和4年度の骨格予算と比較すると、11・7%の増となっている。予算編成は、どのような方針の下に行われたのか。



原口ひさよ 議員

令和5年度の当初予算編成方針について

答 適切な市債活用に留意した予算編成である



建替工事の中の本堀団地

伸びている要因を伺う。
松本財政課長 5年度の当初予算の市債額は、14億3千4百80万円、4年度の肉付け補正後の市債額は9億1千7百10万円であり、5億1千7百70万円増加している。

事業に活用する学校教育施設等整備事業債、本堀・姉団地建替え事業に活用する公営住宅建設事業債の増加などが挙げられる。安定的な財政運営を見据え、一般財源を最大限抑えられるよう、事業費に対する充当率、借入後の交付税措置率にも十分配慮している。

久間防災危機管理課長 基準については消防庁より告示されており常時貯水量が40立方メートル以上、または取水可能水量が毎分1立方メートル以上で、かつ連続40分以上の給水能力を有し、防火対象物から消防水利に至る距離は市街地、または準市街地では120m以下で、以外の地域で140m以下となっている。また消防水利については、水面が地下4・5m以下であり、かつ水深を0・5m以上確保することと定められている。



木原 憲治 議員

消防水利の整備状況について

答 神崎市消防水利基準に照らして整備を行っている



議員 自然水利については、特に閑散とした時期や夏場の渇水時期など季節により水量が大きく違うため地区及び、地元消防団と密に連携を図り状況に応じた十分な対応をお願いする。また消火栓までの配水管で50ミリの口径があると聞くと、消防法では65ミリの口径を有するものと例示されて

いるので早く交換することが望まれるが。
防災危機管理課長 50ミリの配水管は昭和60年頃以前に設置されたもので、まだ市内に14ヶ所あるため、東部水道企業団へ要望していきたい。

その他の質問
・フードバンクの設置について



消防水利標識も薄れ、水量・水深の確保と整備をお願いする



国営三田川出来島排水樋門

議員 浮島排水機場・浮島水門の停電時の電力について。
嶋産業建設部長 停電時の運転は、予備発電機にて運転可能である。
議員 主要地方道諸富西島線は、排水機場の所が1車線であり堤防工事のため新設、移転すべきではないか。



副島 英樹 議員

議員 国営三田川線には、排水機場が設けられていないがその経緯は。
松永農林水産担当理事 当初から排水機場設置計画はなく、排水樋門による自然排水となっていた。
議員 今後国営三田川線・国営千代田線にポンプ場の新設、増設の考えはあるのか。
産業建設部長 筑後水系河川整備計画にて堤防かさ上げ、拡幅が計画されているが排水機場の問題で当施設の移転を含めた計画検討、堤防設計等時間を要し早急な対応は難しい。

答 水害対策について（国営三田川線、国営千代田線洪水対策）
国県へ排水機場の新設・増設を要望していく



議員 国営三田川線には、排水機場が設けられていないがその経緯は。
松永農林水産担当理事 当初から排水機場設置計画はなく、排水樋門による自然排水となっていた。
議員 今後国営三田川線・国営千代田線にポンプ場の新設、増設の考えはあるのか。
産業建設部長 筑後水系河川整備計画にて堤防かさ上げ、拡幅が計画されているが排水機場の問題で当施設の移転を含めた計画検討、堤防設計等時間を要し早急な対応は難しい。
議員 国営三田川線には、排水機場が設けられていないがその経緯は。
松永農林水産担当理事 当初から排水機場設置計画はなく、排水樋門による自然排水となっていた。
議員 今後国営三田川線・国営千代田線にポンプ場の新設、増設の考えはあるのか。
産業建設部長 筑後水系河川整備計画にて堤防かさ上げ、拡幅が計画されているが排水機場の問題で当施設の移転を含めた計画検討、堤防設計等時間を要し早急な対応は難しい。

ふるさと納税について

議員 神崎市ふるさと納税寄附金の状況は。
中島総務企画部長 神崎市ふるさと納税寄附金は、令和元年度約11億4千7百万円、令和2年度約18億7千2百万円、令和3年度約15億9千万円である。

議員 ふるさと納税寄附金の使途、何に幾ら使ったか公表しているか。
総務企画部長 金額については公表していない。今後効果的な公表の在り方を積極的に検討する。



活性化が望まれる長崎街道

議員 旧長崎街道神埼宿観光拠点づくり事業で予算計上されているが、どのような観光拠点を目指すのか。
嶋産業建設部長 旧長崎街道神埼宿に点在している空き家等の古民家をり



中野 均 議員

答 長崎街道神埼宿観光拠点づくりは、どうするのか
点在している空き家等の古民家の活用を検討



議員 旧古賀銀行神埼支店、門前広場が整備されているが、観光拠点としてどうするのか。
平山教育部長 本施設単独の活用だけでなく、長崎街道を一体的に活用

議員 旧古賀銀行神埼支店、門前広場が整備されているが、観光拠点としてどうするのか。
平山教育部長 本施設単独の活用だけでなく、長崎街道を一体的に活用

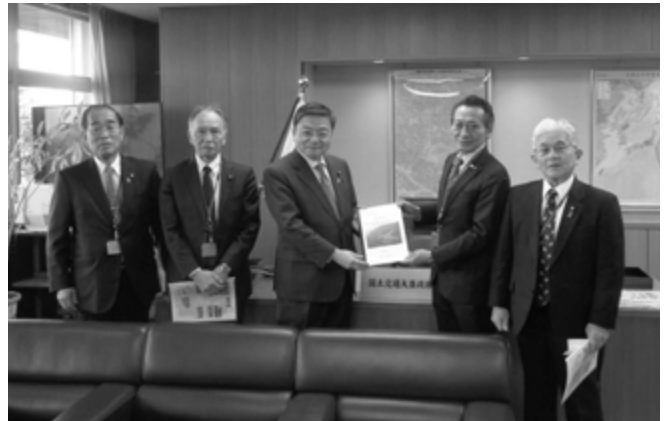
議員 児童・生徒が安全に通学できる対策については令和5年度当初予算に反映しているのか。
産業建設部長 通学路における車両の減速を促すリブ式区画線やイメージハンブの設置、幅広路肩の設置、ガードパイプの更新などを交通安全費として予算化している。

通学路の安全施設整備について

市議会として、城原川ダム事業の促進及び 水没予定地区住民への万全な生活再建対策の推進を国に再要望

1月の市長との合同要望に引き続き、2月8日から9日にかけて神埼市議会として議長と各常任委員会の代表議員により、「城原川ダム事業の促進」及び「水没予定地区住民への万全な生活再建対策の推進」について、再度、関係機関に対し要望活動を行いました。

要望先の国土交通省では、古川康国土交通大臣政務官と面談を行い、長い間待たされた住民の気持ちを最優先に十分な生活再建の支援を強く要望するとともに、市民の皆様が安全で安心して暮らせる地域づくりのためにも、一刻も早く城原川ダムの治水対策を進めていただくよう要望しました。



▲古川国土交通大臣政務官に要望書を手渡し

神埼市議会だより愛称応募用紙

➤ 愛称（よみかた）

➤ 愛称の説明

➤ 議会だよりや神埼市議会についての質問・意見などお寄せください

※個人情報は、愛称募集の目的以外では使用しません。
※採用者は、議会だよりにて紹介させていただく場合があります。

議会の動き（令和5年1月～3月）

- 1月5日 議会広報編集特別委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 20日 第236回佐賀県市議会議長会
- 26日 議会広報編集特別委員会
- 31日 九州市議会議長会第4回理事会（大分県）
- 2月1日 議会広報編集特別委員会
- 2日 全国市議会議長会基地協議会第105回理事会（東京都）
全国市議会議長会基地協議会第86回総会（東京都）
- 9日 全国市議会議長会第114回評議員会（東京都）
- 10日 市議会議員共済会第125回代議員会（東京都）
- 13日 産業建設常任委員会
- 14日 文教厚生常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 21日 全国市議会議長会第176回建設運輸委員会（東京都）
- 22日 議会運営委員会
- 2月24日～3月24日 令和5年2月神埼市議会第1回定例会
- 2月24日 全員協議会
- 3月1日 令和4年度予算特別委員会
議会広報編集特別委員会
- 8日～15日 令和5年度予算特別委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 20日 文教厚生常任委員会
- 22日 議会改革検討特別委員会
議会運営委員会
- 24日 全員協議会



神崎市議会だより愛称募集中！



神崎市議会広報編集特別委員会では、市民の皆さまにより親しんでもらう議会だよりとするため、議会だよりの表紙の愛称を募集いたします。皆さまの想いのこもった素敵な愛称をお待ちしています。

応募方法

右下のはがきに、住所、氏名、愛称、愛称の説明等を記入し、切り取って投函してください。（FAX、メールでも可）

応募締切

令和 5 年 6 月 30 日（金）

応募先

神崎市役所 議会事務局
議会広報編集特別委員会 宛
FAX：0952-37-3597
メール：gikai@city.kanzaki.lg.jp

応募特典

採用者には記念品を贈呈いたします。

たくさんのご応募
お待ちしております！



編集後記

長く寒い冬が終わり、待ち望んでいた春が来ました。私は、昨年より市議会議員の職を賜りました新人議員ではありますが、水害対策を最重要課題として取り組んでまいりました。昨年佐賀では、大きな災害はありませんでしたが、全国に目を向ければ、大雨による災害は増える一方です。【線状降水帯】この言葉に不安や恐怖を抱く人も多いでしょう。春が終われば、梅雨になります。一昨年までの災害を繰り返す事のないように、災害対策を取組んでいかなければなりません。また脊振地区の岩屋・政所の皆様にお願いしては、先祖から受け継いだ住み慣れた家や土地を手放し、ふるさとを後にしてまで、ダム建設に賛成して頂きましたことに改めて感謝申し上げます。皆様の苦渋の決断をしていただいた事を、決して無駄にせず、水害対策の柱であるダム建設を取組、水害対策を進めて参ります。また移転される方々の生活支援をしっかりと応援させていただく所存です。今年も災害が無い年であるよう祈るばかりです。（記 副島英樹）



ダム建設による水没予定地の脊振町岩屋・政所地区

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員	副島 英樹
副委員長	平山 文也	委員	徳川 博人
委員	白石 昌利	委員	末次 勝

料金受取人払郵便

神崎局承認

385

差出有効期間
令和5年6月30日まで
(切手を貼らずにお出しく下さい)

郵便はがき

8 4 2 - 8 7 9 0

（受取人）

神崎市神崎町鶴 3542 番地 1

神崎市役所 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

（神崎市議会だより 2023.5 月議会号）



ふりがな
ご氏名

※採用者を紹介する場合に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()